

## 競技注意事項

### 1 競技規則について

本競技会は2014年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会申し合わせ事項により実施する。

### 2 練習会場等について

10月16日(木)～10月22日(水)の期間は「練習会場使用上の注意事項」「練習会場使用日程」に基づき練習ができる。なお、練習にあたっては、競技役員の指示に従うこと。

### 3 招集について

- (1) 招集所は、陸上競技場第3ゲート出口付近(200Mスタート外側)に設ける。
- (2) 種目別招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程に記載している。
- (3) 招集の方法
  - ① 競技者は招集開始時刻に招集所で競技役員の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピン・商標の点検を受ける。
  - ② 代理人による点呼は認めない。
  - ③ 2種目同時に出場する競技者は、招集完了時刻30分前までに所定の「2種目同時出場届」(監督会議時に配布。予備をTIC(招集所付近)に用意する)に記入し、競技者係に提出すること。なお、当該競技者でトラック競技が先に開始される場合は、トラック競技終了後ただちにフィールド種目の競技場所に移動し、担当競技役員に申し出る。フィールド競技の途中でトラック競技に出場する競技者は、競技開始前、当該の競技役員にその旨を申し出ること。
  - ④ 棄権する場合は、各種目招集完了時刻30分前までに所定の「棄権届」(監督会議時に配布。予備をTIC(招集所付近)に用意する)を競技者係に提出する。招集完了時刻に遅れた競技者は当該種目を棄権したものとする。

### 4 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、主催者が4枚配布する。(胸・背・トレーニングシャツ・手荷物用)
- (2) 着用については、競技規則第143条7、8を厳守すること。
- (3) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識(2枚)を招集時に配布する。
- (4) 競歩種目については、都道府県ナンバーと同じ腰ナンバーを用いる。

### 5 競技場への入退場について

- (1) 競技場内への入退場はすべて競技役員の指示・誘導による。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーンを通り退場する。

### 6 競技の抽選並びに番組編成について(レーン順・試技順)

- (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の競技者番号の左に数字で示す。
- (2) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びレーン順は、2F正面スタンド入口付近と補助競技場入口付近、掲示板に印刷物で掲示する。
- (3) トラック競技でタイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足するときは、写真判定員主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できないときは抽選とする。(競技規則第167条2)
- (4) 抽選が必要になったときは、当該競技者にアナウンスにより連絡し、競技運営本部にて当該競技者あるいは代理人により抽選し決定する。なお、アナウンス後15分を経過しても当該競技者あるいは代理人が競技運営本部に来なかったときは、主催者が代行する。

## 7 競技及び競技方法について

### (1) トラック競技について

- ① トラック競技の計時はすべて写真判定装置を使用する。
- ② レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ③ 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュラインを通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- ④ 競技規則第162条7（国内）により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
- ⑤ スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）
- ⑥ 競歩種目の警告掲示板は、都道府県ナンバーで表示する。

### (2) フィールド競技について

- ① 投てき競技の計測は光波距離測定装置を使用する。
- ② フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。フィールド競技の練習は2回とする。その際、棒高跳はゴムバーを使用する。
- ③ 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカを2個まで置くことができる。また砲丸投・円盤投・ハンマー投については、サークル直後に主催者が用意したマーカを1つ置くことができる。使用することができるマーカは、競技役員が現地で渡す。但し、走高跳については、競技者係で渡す。そのマーカ以外は使用できない。
- ④ 棒高跳の競技者は、支柱の位置をあらかじめ所定の「アップライト申告用紙」に記入し、招集時に競技者係に提出する。
- ⑤ 少年男子共通三段跳の踏切板は、砂場から13mの位置に設置する。
- ⑥ 走幅跳・三段跳において、参加競技者30名以上の場合は2ピット同時進行で決勝を行う。  
走幅跳・三段跳において2ピットで決勝を行う場合、3回の試技の後、4回目からの試技をBピットで行う。  
その際にAピットから移動する選手には、4回目開始の前に助走練習を1回認める。
- ⑦ 走高跳、棒高跳の決勝のバーの上げ方は、優勝が決まって最後の一人になるまで次のとおりとする。  
ただし、残っている競技者が2人以上でも、全員の同意があれば、日本記録を超える高さのバーを上げることができる。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以後
走高跳	成年男子	1m97	2m00	2m03	2m06	2m09	2m12	2m15	2m18	2m21	3cm
	成年女子	1m60	1m63	1m66	1m69	1m72	1m75	1m78	1m81	1m84	3cm
	少年男子共通	1m94	1m97	2m00	2m03	2m06	2m09	2m12	2m15	2m18	3cm
棒高跳	成年男子	4m60・ 5m00・30	4m70	4m80	4m90	5m00	5m10	5m15	5m20	5m25	5cm
	少年男子A	4m30・60・80	4m40	4m50	4m60	4m70	4m80	4m90	4m95	5m00	5cm
	少年女子共通	2m70・3m20	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	3m35	3m40	5cm

[※ 公式練習は、2回とする。]

### (3) リレー競技について

- ① リレーに出場するチームは所定の「リレーオーダー用紙」に記入し、競技者係に提出すること。  
ただし、準決勝・決勝においては、メンバー・走者順に変更のある場合のみ「リレーオーダー変更届」を競技者係に提出すること。なお、締切時刻は各種目第1組の招集完了時刻の1時間前までとする。
- ② リレー競走において使用するマーカは主催者が用意する。除去については使用したチームが必ず行うこと。
- ③ 「リレーオーダー用紙」「リレーオーダー変更届」は監督会議時に配布する。予備を競技者係に用意する。

- (4) 抗議は、競技規則第146条に定められた時間（大型映像表示時刻を基準とする）内に、競技者自身または代理人が、同一日に次のラウンドがある場合は15分以内に、それ以外は30分以内にTICの担当総務員に口頭で申し出る。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ預託金（1万円）を添え、上記同様の定められた時間内にTICに申し出ること。「上訴申立書」による抗議裁定の結果は担当総務員を通じて伝える。

**(5) 助力について**

- ① 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。
- ② ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んで서는ならない。
- ③ 助力については、競技運営ならびに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で、コーチングエリアに限り認める。映像を見せることは可能であるが、吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため当該競技エリアから勝手に離脱するような行為は認めない。また文書をもって連絡することは認めない。

**(6) 警告について**

不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては、当該競技から除外される。警告は黄色（スタート動作時については黄黒色）のカード、除外は赤色（スタート動作時については赤黒色）のカードを示すことによって競技者に知らされる。

**8 競技用具について**

競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものとする。ただし、競技場に備え付けられていない投てき用具に限り持ち込みを認めるので、希望者は各競技開始2時間前から70分前までに、T I C（招集所付近）に持ち込む投てき用具とともに「投てき用具検査申請書」を提出する。受け付けた「投てき用具」については「投てき用具預り証」を発行する。検査に合格した投てき用具については、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとする。受け付けた投てき用具は、その種目の競技終了後にT I Cで「預り証」を確認のうえ返却する。

**9 競技用靴について**

競技場は全天候舗装である。スパイクの数は11本以内で、長さは9mm以内とする。ただし、やり投・走高跳の場合は12mm以内とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。

なお、走高跳と走幅跳における靴底の厚さは13mm以内、走高跳の踵は19mm以内でなければならない。

**10 ドーピング検査について**

- (1) 検査は、日本ドーピング防止規程及び関連規則に基づき実施する。
- (2) ドーピング検査対象に選定された競技者は、ドーピングコントロールオフィサー（DCO）、シャペロン、競技役員 の指示に従って検査を受けること。

**11 種目別表彰について**

- (1) 各種目の1～8位までの入賞者（リレーは1チーム4名）を表彰する。
- (2) 各種目の入賞者は、ミックスゾーンを出た後、インタビュー室経由で入賞者待機所まで誘導される。
- (3) 表彰時は、各都道府県のユニフォームを着用すること。

**12 総合表彰式について**

- (1) 総合表彰式は、10月22日（水）全競技終了後、11時00分からメイン競技場で行う。
- (2) 男女総合成績第8位までに入賞の各都道府県代表1名（優勝チーム2名）、女子総合成績第8位までに入賞の各都道府県代表1名（優勝チーム1名）は、10時30分までに1F入賞者待機所に集合すること。

**13 一般連絡・注意事項**

- (1) 衣類の広告に関する規定については、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に従い、違反に対しては、主催者において処置する。表彰を受ける際もこれが適用される。  
競技時間以外（競技開始前）のメイン競技場での練習においても、この規定に従う。
- (2) 更衣室は、都道府県別選手控所の男女別仮設テントとする。荷物は各自で管理すること。  
万一の場合があっても責任は負わない。
- (3) 記録はその都度発表する。また、2F正面スタンド入口付近と補助競技場付近に印刷物で掲示する。当日の記録は補助競技場入り口付近に設置した各都道府県の記録配布棚に順次配布する。

- (4) 正面スタンド及びスタンド内手すりへの応援旗・部旗・横幕等の取り付けは禁止する。取り付ける場合は、3Fスタンド最後部安全柵のみとする。
- (5) 応援は競技運営に支障のないように行うこと。特に正面スタンド、各フィールド種目実施場所付近での集団応援は禁止する。(フィールド種目試技時の応援声出しは、トラック競技進行の妨げにならないように慎むこと)
- (6) スタンドの手すりにもたれての応援はしないこと。また、立っての観戦もしないこと。
- (7) 車椅子席を本来の目的以外に使用することや、通路での観戦・休憩は禁止する。
- (8) 応急処置を要する場合、及びその他健康上の問題が生じた場合は競技役員に申し出て、救護室を利用することができる。
- (9) 競技場内での疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (10) 競技会期間中の貴重品の管理は、各自が責任をもって行うこと。
- (11) 競技者の遺失物についてはTICで10月22日(水)午前10時00分まで管理する。
- (12) 棒高跳のボールの輸送取り扱いについては、下記のとおりとする。
- ① 送り主が宅配便等により、下記あて先に時間指定で発送のこと。
- 送り先** 〒854-0061 長崎県諫早市宇都町 27-1  
長崎県立総合運動公園 陸上競技場 宛  
Tel : 0957-22-0129
- 受付日時** 10月15日(水)～10月19日(日) 12:00～16:00
- 問い合わせ先** Tel : 0957-22-0129
- ② 送付された棒高跳のボールは、メイン競技場で保管する。使用する際は、担当競技役員に申し出ること。
- ③ 競技終了後は、ボール宅配受付所に宅配幹旋業者の窓口を設けるので、各自で返送手続きを取ること。
- (13) 記録証の交付を希望する競技者は、TICにある「記録証交付願」に必要事項を記入し、記録証代金600円(郵送料込)を添えて申し込むこと。
- (14) 競技者及び監督・コーチには、競技会申し合わせによりIDカードが渡される。IDカードで行動できる範囲は、各練習場とする。IDカード使用者は、各練習場内を移動する場合は必ずIDカードが確認できるように携帯すること。
- (15) トレーナーステーションとウェイトトレーニング場は補助競技場に設置する。
- (16) 競技関係書類の提出先は次のとおりとする。

	提出書類	提出先	提出時間
1	棄権届	競技者係	招集完了時刻30分前まで
2	2種目同時出場届	競技者係	第1種目の招集完了時刻30分前まで
3	リレーオーダー用紙	競技者係	各種目第1組招集完了時刻の1時間前まで
4	リレーオーダー変更届	競技者係	各種目第1組招集完了時刻の1時間前まで
5	アップライト申告用紙	競技者係	招集時に
6	投てき用具検査申請書	TICを通じて公式計測員に	競技開始2時間前から70分前まで
7	抗議申し立て (口頭)	TIC	正式記録発表後(予・準) 15分まで 正式記録発表後(決) 30分まで
8	上訴申立書(文書) (預託金1万円)	TIC	審判長公式裁定後(予・準) 15分まで 審判長公式裁定後(決) 30分まで
9	記録証交付願	TIC	競技終了後随時
10	プログラム訂正届	監督会議会場	10月17日は16時30分まで
		TIC	10月18日～22日は8時30分まで

- (17) 競技会運営本部設置について  
諫早市実行委員会実施本部  
【10月18日(土)～10月22日(水)】  
「長崎県立総合運動公園 陸上競技場内」  
〒854-0061 長崎県諫早市宇都町 27-1  
Tel : 0957-23-4991 Fax : 0957-23-4995

#### 1.4 練習会場使用上の注意事項

- (1) 練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。
- (2) 練習に必要な用器具は、主催者が準備するが、持参した個人の用具も使用できる。
- (3) 荷物などは、個人が責任を持ち管理する。
- (4) 会場内への入退場は、必ずIDカードを明示する。また、コーチは会場において常にIDカードが確認できるように携帯する。
- (5) メイン競技場での練習は、公式練習日にはトラック種目及び棒高跳・走幅跳・三段跳を使用可とする。競技会当日朝の時間帯にはトラック種目及び棒高跳を使用可とする。ただし、フィールド種目は練習会場使用日程で指定された時間のみ使用可とする。
  - ・1～2レーン：中・長距離、競歩
  - ・3～7レーン（ホームストレート）：短距離
  - ・8～9レーン（ホームストレート）：100mハードル・110mハードル（ハードルの移動不可）
  - ・3～7レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：短距離・リレー
  - ・8～9レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：400mハードル
  - ・フロントOUT：走幅跳・三段跳
  - ・バックOUT：棒高跳
- (6) 補助競技場での練習区割りは以下のとおりとする。
  - ①トラック種目・跳躍種目の使用は、原則として以下のとおりとする。なお、逆走は禁止する。
    - ・1～2レーン：中・長距離、競歩
    - ・3～4レーン（ホームストレート）：短距離
    - ・5～8レーン（ホームストレート）：100mハードル・110mハードル（混雑時ハードルの移動不可）
    - ・3～6レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：短距離・リレー
    - ・7～8レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：400mハードル
    - ・Aゾーン：走高跳
    - ・Bゾーン：棒高跳
    - ・バックOUT：走幅跳・三段跳
  - ②ハードル種目及びリレー競技が実施される日は、それぞれ優先レーンを増やし、練習場の確保をする。ただし、混雑時のハードル移動（インターバルの変更）は不可とする。詳細は、練習場係の指示に従うこと。
  - ③トラック種目の練習時、監督・コーチは走路上で競技者に指示を出すことはできない。ただし、担当競技役員の指示のもと、安全に十分留意して行うこと。
- (7) 投てき種目の練習は投てき練習場のみとし、「練習会場使用日程」どおり、それぞれの種目の練習を行うことができるが、競技注意事項に記載した時間以外は認めない。練習会場で練習を行う際には、選手またはコーチが受付で必要事項を記入する。また日没等で安全の確保が困難な場合は、予定時間前でも練習会場を閉鎖する場合がある。
- (8) 雨天練習場での練習は、競技者・監督・コーチ以外の立ち入りは禁止する。走る方向は一方通行とし、危険防止に努める。
- (9) メイン競技場および補助競技場での練習において、練習の順番待ちは、当該選手のみとし、それ以外は認めない。

## 15 練習会場使用日程

会 場	種 目	10月16日(木) 公式練習日	10月17日(金) 公式練習日	10月18日(土) 第1日目	10月19日(日) 第2日目
メイン競技場	トラック	9:00~17:00	9:00~17:00	7:30~ 9:00	7:30~ 9:00
	男子棒高跳	12:30~17:00	9:00~12:30	7:30~ 9:00	
	女子棒高跳	9:00~12:30	12:30~17:00		7:30~ 9:00
	走幅跳・三段跳	9:00~17:00	9:00~17:00		
補助競技場	トラック	9:00~17:00	9:00~17:00	7:00~18:00	7:00~18:00
	男子棒高跳	9:00~12:30	12:30~17:00	7:00~12:00	9:30~17:00
	女子棒高跳	12:30~17:00	9:00~12:30	12:00~17:00	7:00~12:00
	走高跳	9:00~17:00	9:00~17:00	7:00~17:00	7:00~17:00 成年男子高跳専用 10:20~12:20
	走幅跳・三段跳	9:00~17:00	9:00~17:00	7:00~17:00 少年女子 B 走幅跳専用 7:00~9:00 成年男子走幅跳専用 10:15~12:15	7:00~17:00 少年女子 A 走幅跳専用 7:30~9:30 少年男子 A 走幅跳専用 11:30~13:30
投てき 練習場	砲丸投	9:00~17:00	9:00~17:00	7:00~17:00 少年男子 B 専用 11:00~13:30	7:00~17:00 成年男子専用 7:00~9:20
	円盤投	15:00~17:00	9:00~11:00	少年男子共通専用 7:00~ 9:05	
	ハンマー投	9:00~12:00	11:00~14:00	9:20~15:00 成年女子専用 <u>11:25</u> ~13:25	少年女子 A 専用 7:00~9:05 少年男子 A 専用 9:05~13:20
	やり投	12:00~15:00	14:00~17:00	15:00~17:00	13:10~17:00
雨天練習場	トラック	9:00~17:00	9:00~17:00	7:30~18:00	7:30~18:00
競技会当日 投てき種目				少年男子共通円盤投 少年男子 B 砲丸投 成年女子ハンマー投	少年女子 A ハンマー投 成年男子砲丸投 少年男子 A ハンマー投

会 場	種 目	10月20日(月) 第3日目	10月21日(火) 第4日目	10月22日(水) 第5日目	
メイン競技場	トラック	7:30～9:00	7:30～9:00	7:30～9:00	
	男子棒高跳	7:30～11:00			
補助競技場	トラック	7:00～18:00	7:00～18:00	7:00～11:00	
	男子棒高跳	7:00～11:00			
	走高跳	7:00～17:00 少年男子共通高跳専用	7:00～11:30 成年女子高跳専用		
		10:00～12:00	9:30～11:30		
	走幅跳・三段跳	7:00～17:00	7:00～12:55 少年男子共通三段跳専用		
		成年女子走幅跳専用 7:10～9:10	7:00～8:50 少年男子B走幅跳専用 10:55～12:55		
投てき練習場	砲丸投	少年女子共通専用 7:00～9:05			
	円盤投				
	ハンマー投				
	やり投	7:00～17:00	7:00～13:00		
		少年男子A専用 7:00～9:30	少年女子共通専用 7:00～9:10		
成年女子専用 9:30～13:35		成年男子専用 9:10～13:00			
雨天練習場	トラック	7:30～18:00	7:30～18:00	7:30～ <u>10:00</u>	
競技会当日 投てき種目		少年女子共通砲丸投 少年男子Aやり投 成年女子やり投	少年女子共通やり投 成年男子やり投		

\* 公式練習日について、メイン競技場で不正スタート発見装置付のスターティンブロックを使用して、本県のスタータの合図によりスタート練習が可能（両日とも14:00～15:30）